



2020 年度
第 37 号

体育市民連帯 ニュースレター

1 バッハ委員長

“KOC 分離しないほうが効率的”

訪韓電撃キャンセル関連疑惑



2 バッハ 南北共同オリンピック “扉は開いている”



3 “いつまで殴るのか、 いつまで叩かれるのか”



4 全羅南道体育会長 康津・宝城体育会長の 暴力・暴言謝罪



競輪選手労働組合誕生 「私たちが労働基本権保障 を受ける権利ある」



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



01-1 SBS ニュース 2020.10.27

【 バッハ委員長 “KOC 分離しないほうが効率的 ” 】



トーマス・バッハ国際オリンピック委員会 (IOC) 委員長が国内スポーツ界の「熱いジャガイモ (訳注: 口に入れたが熱くて吐く事も飲み込むこともできない状態。複雑に絡み合った問題、頭痛の種の意味)」である大韓オリンピック委員会 (KOC) 分離について自分の立場を初めて出しました。

現在大韓体育会と KOC は一つに統合されているが、文化体育観光部と一部の共に民主党議員は KOC 分離を推進している一方、大韓体育会と多くの体育人は強く反対して葛藤が高まっています。

このような状況でバッハ委員長は昨日 (26 日) 夜、SBS と画像インタビューを通じて「KOC 分離問題を綿密に注視している。外部の圧力が各国オリンピック委員会 (NOC) に加わることを望んでいない」と言いました。

「韓国政府が統合大韓体育会から KOC を分離することを推進している事は、IOC の憲章に記載された NOC の自立権を侵害するものと考えますか?」という質問に対してバッハ委員長は「KOC が分離されたときよりも、現在の統合大韓体育会が複数の課題によりよく対処できるものと確信している」と明らかにした。

バッハ委員長は自分の祖国であるドイツの過去の例を挙げながら「ドイツ体育会が二つに分離された時、お互いを非難したため実質的な技術革新と改革がなされなかった」とし「このようなことが韓国でも起きないように助けてい」と付け加えました。

バッハ委員長は続いて「現在の統合大韓体育会を維持することが KOC 分離について様々な議論を行うよりもはるかに効率的だと確信している」と強調しました。

日韓の激しい葛藤を生じさせている旭日旗問題についてバッハ委員長は「旭日旗は国ごと文化ごとにそれぞれの解釈が異なる。しかし、競技場で政治的デモがあってはならない。旭日旗問題は事案に応じて処理する」と言って、単純に旭日旗を所持したまま東京オリンピック競技場に入ってくることは禁止しないという趣旨を示しました。

コロナ 19 の悪化に起因する来年の東京オリンピック中止の可能性については即答を避けたバッハ委員長は、競技場入場する観客は縮小する意向を表わしました。

彼は「オリンピック競技場に観客がいっぱい入ってくるのが理想的だが、現実的には難しいだろう」とし「具体的に観客をどの程度削減するかはコロナ 19 の状況とワクチン開発状況を総合的に考慮して決定する」と明らかにした。

出典:

https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1006044521&plink=COPYPASTE&cooper=SBSNEWSSEND

01-2 スポーツ朝鮮 2020.10.25

【 バッハ IOC 委員長の訪韓電撃キャンセル関連疑惑... 文体部 “コロナ以外の理由はない”と一蹴 】



トーマス・バッハ国際オリンピック委員会（IOC）委員長の訪韓が電撃キャンセルされた。

バッハ委員長は 26 日に行われるソウル平和賞受賞のために 24 日に入国する予定だったが、前日の夜急に日程を取り消した。主催者であるソウル平和賞文化財団は「最近ヨーロッパ、特にスイスでコロナ 19 感染者が再び急激に増加して海外旅行が非常に難しくなるにつれて

トーマス・バッハ IOC 委員長及び IOC と話し合いをして、10 月 26 日に開催される予定の第 15 回ソウル平和賞授賞式をオンラインで進めることを決定した」と発表した。

24 日に入国した後、25 日李ギフン IOC 委員（大韓体育会長）、ユ・スンミン IOC 委員（大韓卓球協会長）と相次いで会談し、26 日午前にムン・ジェイン大統領を表敬訪問し、27 日の体育会創立 100 周年記念レセプションに参加した後、日本に渡り東京オリンピック組織委員会を点検する予定であったすべての日程が電撃キャンセルされた。



バッハ IOC 委員長とユ・スンミン IOC 委員

ユ・スンミン IOC 委員は「前日の夜、バッハ委員長から急に連絡を受けた。スイスなどヨーロッパにコロナが再流行する雰囲気、IOC の長としての個人的な賞を受けるために長距離移動をする状況の心理的な負担が大きいのに見えた」と説明した。「ビデオ会議を頻繁に行ってはいるが、直接訪韓されることは意味が違う。2032 年の南北オリンピック推進などの南北体育交流、平昌レガシーである 2024 年ユース冬季オリンピックと来年の東京オリンピックの準備状況、釜山世界卓球選手権など議論する懸案が本当に多かったが、コロナ 19 の再拡散により来られなくなって非常に惜しい」という気持ちを伝えた。

一方、バッハ委員長の訪韓が急にキャンセルされ、バッハ委員長のムン大統領面談時に同席する人の選定をめぐる政治的論争が理由になった」という世間の疑惑が浮上した。文体部はすぐに疑惑を一蹴した。

26 日午前、国会の国政監査体育団体確認監査スケジュールと青瓦台表敬訪問日程が重なり、朴ヤンオ文体部長官と李ギフン大韓体育会長が同席リストから除外された。朴長官の代わりに崔ユンヒ文体部第 2 次官の同席が決定された。以来、KOC 分離と次期会長選挙など敏感な問題と関連して政府が李会場を排除したという説が広まった。

特にバッハ委員長が公開席上でいつも「マイフレンド (My friend)」と称し、頻繁に連絡して特別な愛情を表してきた「アテネ五輪卓球金メダルリスト出身の青年体育人、ユ・スンミン IOC 委員を排除した事については理解できないという視線が支配的だった。現政府の国政課題である 2032 年の南北共同オリンピック推

進のためのスポーツ外交の強化、円滑な会話の雰囲気の中でも大統領面談時に IOC 委員の随行は当然視されていた。世界中で IOC とオリンピズムの普及、オリンピックの人権と福祉のために働く「大使」格である国内 IOC 委員が IOC 首長の訪韓に同席しないという事実をスポーツ界は異例なことだと受け止めた。

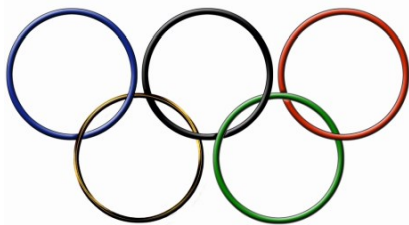
バッハ委員長が訪韓を電撃キャンセルし「青瓦台訪問時に同席する人事関連の不満、政界人物の過度な面談要求」などの疑惑が浮かぶと文体部は週末の 24 日夜、報道資料を通じて積極的に釈明に乗り出した。「国際オリンピック委員会 (IOC) はソウル平和賞文化財団を通じ、最近ヨーロッパ、特にスイスでコロナ 19 感染者が再び急激に増加して海外旅行が非常に難しくなるにつれ、国際オリンピック委員会 (IOC) とソウル平和賞文化財団間で話し合いをして、10 月 26 日開催予定の第 15 回ソウル平和賞授賞式をオンラインで進めることに決定したと述べた。IOC 側の既存の訪韓キャンセル事由以外に他の背景はなかったという点を再確認したことをお知らせする」と述べた。

出典：<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202010260100192170013138&servicedate=20201025>

02 中央日報 2020. 10. 27

【 バッハ「南北共同オリンピック、確答は難しいが扉は開いている」 】

“平昌冬季五輪は五輪が平和な未来へ向かう道を作れるということを見せてくれた”



トーマス・バッハ (67) 国際オリンピック委員会 (IOC) 委員長が 26 日午後、オンラインで行われた第 15 回ソウル平和賞の授賞式で、「分断の歴史を持つドイツ (西ドイツ) で生まれ大韓民国国民のように平和を渴望する心を持っている」と述べた。

バッハ IOC 委員長は授賞式に出席するため、24 日に訪韓する予定だったがコロナ 19 再拡散で中止した。バッハ委員長に代わって第 11 回 (2012 年) 受賞者であるバン・ギムン前国連事務総長がソウル新羅ホテル授賞式に出席し賞を受け取った。

この日ビデオ参加したバッハ委員長は「直接韓国で賞を受けられず非常に残念だ」と話した。1990 年初代ソウル平和賞受賞者であるファン・アントニオ・サマランチ委員長に続き、IOC 会長としては歴代二人目の受賞者だ。

バッハ委員長は受賞の所感で「平昌五輪開会式で南北単一チームが歓呼の中で共同入場したことは 2014 年から開会式 4 時間前まで行われた (南北) 政府間高位級会談および IOC の積極的介入と努力の産物だった」と回顧した。それとともに「IOC はスポーツを通じた普遍性と連帯・包容・持続可能性など、オリンピックアジェンダ 2020 を推進しているが、2018 年平昌冬季五輪はアジェンダ 2020 の模範的な大会」と評価した。続いて「2024 年江原冬季ユースオリンピックで、再びスポーツの力を借りて平和の基礎を固める機会を作ることができる」とも強調した。

バッハ委員長は「ソウル平和賞受賞をオリンピックの理想を追求し続ける奨励として受け入れる」とした。

「バッハ委員長は 2017 年 11 月に国連総会でオリンピック休戦決議案を、翌年スイスのローザンヌで北朝鮮選手団の例外参加を可能にする『オリンピック半島宣言』を引き出し平昌オリンピックの成功的開催と朝鮮半島の平和の基礎作りに貢献した。初めて難民選手団をオリンピックに参加させ、オリンピック難民財団を通じて支援することにより被害者の人権増進にも大きく貢献した。」ヨム・ジェホソウル平和賞文化財団理事長が明らかにした授賞理由だ。

バッハ委員長は授賞式の後、中央日報との単独ビデオインタビューで故李ゴンヒ三星グループ会長の追悼の

意を数回述べた。彼は「私が委員長に選出された（2013年、アルゼンチン）ブエノスアイレス IOC 総会のとときに最後に（李会長と）会った」とし「サムスン革新してグローバル一流企業に育てた方らしく、私たちの会話は IOC の技術革新と改革に続き、私の IOC 改革案を支持すると言ってくれた李会長がとても懐かしい」と話した。続いて「(ジャック) ロゲ IOC 委員長と一緒に会った時も、オリンピックの各種メダルなど、様々な知識を得て感心したりした」と付け加えた。

バッハ委員長は李会長の死去のニュースが知られた後、ローザンヌ IOC 本部に弔旗掲揚を指示した。IOC は「死去のニュースは大きな悲しみ」と「故人がオリンピックの歴史に残した遺産 (legacy) は永遠」というバッハ委員長名の声明文を出した。

Q. 訪韓を突然中止した背景について複数の解釈が出ている。

A. 「コロナ 19 が理由だ。訪韓にはスイスからフランスを経なければならぬが、両国ともコロナ 19 拡散で恐ろしい。私が感染すれば韓国人の健康にも問題ではないか。」

Q. 韓国政府は早ければ 2032 年の南北共同オリンピック開催を夢見ているが。

A. 「現時点で確答は難しい。いちど（韓国政府が表明した）開催意思は受け入れた状態であり扉は開いていて、(IOC は) 手続きを踏んでいく準備はできている。新たに変えたオリンピック開催地の選定過程を経て手続きに沿って定められる。」

Q. 国際保健機関 (WHO) がコロナ 19 で東京オリンピック競技中止を勧告したら。

A. 「仮定の質問に答える時期ではない。成功的な開催のために最善を尽くしている。競技場入場から検査までのすべての状況を考慮した「ツールボックス (tool box)」を考案中で競技前に完成する予定である。」

Q. 東京オリンピックで旭日旗の使用を IOC が事実上許容したという批判がある。

A. 「IOC に重要なのは政治的中立性である。五輪ではどのような種類の政治的示威や表現も禁止されているのは当然だ。」

出典：<https://news.joins.com/article/23904188>

03 ハンギョレ 2020. 10. 28

【 いつまで殴るのか、いつまで叩かれるのか 】



金ガムニョン 高麗大学ドイツ学専攻教授

最近のニュースで再びスポーツ界の暴力事件が報道された。無資格スケートコーチが実業チーム選手の胸ぐらをつかんでひどい暴言と暴行をしたという内容だった。このコーチは大韓体育会などに申告されたが、証拠不十分などで何の処罰も受けなかったという。シム・ソクフイ選手事件で世の中を騒がせ、故崔スクヒョン選手の死でスポーツ界の素顔が明らかになったが、スポーツ界の暴力は終わりを知らないようだ。

国家人権委員会のスポーツ人権特別調査団が 2019 年 2 月にスケート趙ジェボムコーチの選手への性暴力事件をきっかけにスポーツ界暴力、性暴力事件の根絶と人権保護システムを整えるため、文部科学省、文化体育観光部、女性家族部など政府全体レベルで立ち上げをした。調査団は 2019 年 11 月 7 日、7 月から 9 月までの学生選手が全国 5274 校の小・中学校選手 6 万 3211 人を対象に調査をしており、合計 5 万 7557 人 (91.1%) が回答した。結果は衝撃的だった。全体の学生の 34.2%、すなわち 3 分の 1 を超える子供たちが暴力を経験したと述べた。

さらに衝撃的なのは子供たちが自由意見で伝えた話である。水泳選手の一人の男子小学生は「お母さんは私が泳ぐのを見に来て、私が叩かれることも見ました。お母さんは運動するときにはしっかりしなければならないのに何故叩かれたのかのかと、次からはしっかりしろ... 」と言ったと述べている。

報告書を見ると小学生の場合、身体暴力を経験した後の気持ちを問う言葉に「もっと熱心にしなければと考えた」と 898 人 (38.7%) もが答えたという。深刻である。「(これは) 日常化した暴力文化の中で小学生の頃からすでに暴力を訓練や実力向上のための必要悪として認識 (暴力の内面化) する傾向を示していることを意味する。これらの暴力の内面化は運動集団内の暴力文化が継続し、再生産される悪循環の原因になっている」と報告書は診断している。

誰が子供たちをこのようにしたのか、小さい子供や青少年への暴力はスポーツの分野で広がっている。その原因は子供たちが抵抗する物理的な力も精神力もなく、しかも抵抗する方法も知らないからだ。子供だけでなく親、コーチ、周辺の大人の皆が、成功さえすれば叩かれることくらい甘受しなければならないという意識も原因である。民主化はただ大きな枠組みでのみ達成した。私たちの生活の隅々にはまだ前近代的暴力が乱舞している。

スポーツ暴力を止める方法は何だろうか？ たくさんある。インターネット検索だけでも様々な方策が見つかる。私はその中で民主市民教育と人権教育が一番重要だと考えている。暴力を正しく知らなければならない。スポーツの究極の目標は何なのかも知るべきである。何のためにスポーツをするのかも知るべきである。私たちがいつ本当に幸せなのかも知るべきである。そして私達すべてが享受すべき人間としての尊厳も必要である。暴力のない社会はありえないからである。私たちは、好むと好まざるとにかかわらず暴力と共に歩むからである。暴力を根本的に防ぐことはできない。暴力に対する根本的な抵抗能力を持たなければならない。それがまさに「なぜ殴るの？」と抵抗できる能力である。子供だけでなく、大人も民主市民教育を受けなければならない。

出典：<http://www.hani.co.kr/arti/opinion/because/967589.html>

04 韓国日報 2020. 10. 28

【 全羅南道体育会長、^{カンジン}康津・^{ボソン}宝城体育会長、暴力・暴言謝罪 】



全羅南道康津郡と宝城郡体育会長の暴力とパワハラについて金ジェム全南道体育会長が 28 日、謝罪した。

金会長は同日、全南道庁記者室で会見を開き、「最近、一部の地域体育会で時代に逆行する暴力とパワハラなどかんばしくない事件を起こした点について重い責任を痛感し、心から頭を下げて謝罪する」と述べた。

続いて「今回の事件を通じて人権の死角地帯がまだ存在しており、継続的に発生するスポーツ界の暴力事件について強力な対策が必要であることを切実に感じている」とし「今後このようなことが再発しないように徹底的に調べて体育会の関連規定に基づいて厳正に処理する」と述べた。

金会長が直接事故に言及した理由は最近、康津郡体育会長が「郡長の晩餐会日程を自分と相談しなかった」と郡庁 5 級公務員を凶器で暴行して反省文の作成を強要し、警察に立件されたもの。宝城郡体育会長も郡庁

の補助金監査を拒否し、「殺してやる」などの暴言を発して公務員から反発を買っている。

これに対して道体育会は、選手と指導者を対象に実施したスポーツ人権教育を 22 の市・郡体育会と 69 の会員種目団体の役職員に拡大し、スポーツ行政家のための人権教育も行なう方針だ。

また、道体育会内にスポーツ人権センターを設置し、スポーツ界現場の人権侵害およびスポーツ不正などを常時点検して、市・郡体育会についての実態調査も推進することにした。

しかし、問題となった地域体育会長の処罰規定が明確でなく、制度の改善が必要だという指摘だ。道体育会もこれと関連して大韓体育会と協議している。

金会長は「民選体育会長時代に合った制度の改善を介してスポーツ界の暴力やパワハラなどかんばしくない事件発生時に強力な措置と処罰をする」とし、「地方自治団体と円滑な協力関係を維持できるように能力強化と自浄努力を持続する」と述べた。

出典：<https://www.hankookilbo.com/News/Read/A2020102815400003064?did=NA>

05 民衆の声 2020. 10. 28

【 競輪選手の労働組合誕生...「私たちも労働基本権保障を受ける権利ある」 】



スポーツ選手の労働組合が誕生した。「韓国競輪選手労働組合」（以下、競輪選手組合）である。

27 日、競輪選手労組は中部地方雇用労働庁安養支庁に設立申告をして 206 日後に労組設立済証を受けたと述べた。

競輪選手労組は競輪選手の劣悪な労働環境を改善するために昨年からの設立を準備し、今年 3 月 26 日に設立総会を開いた。続いて同月 30 日に労働庁安養支庁に設立申告をしたが、安養支庁は二度設立申告書補完を要求した。しかし、労組は最後まであきらめずに設立申告書を補完して再度労組設立を申告し、206 日目の 21 日、労組設立済証を受けた。

労組設立宣言では、競輪選手労組はこれまで国民体育振興公団から労働力搾取と生計権圧迫、公然としてパワハラに耐えて生きてきたとし、「今、私たち競輪選手労組は労組設立済証の交付を通じた法的団体として新たに生まれた。今後、25 年間の労働力搾取と不当な待遇に対して厳正に国民体育振興公団に問うものであり、労働者としての正当な権利を追求する」と明らかにした。

また、「25 年間、私たち競輪選手は不当な事を一人で背負わなければならなかった」とし「今、私たちの法と制度は私たちの弱みではなく、槍と盾になるだろう」とした。また「私たちはお互いの立場と考えが少しずつ異なっている競輪選手が一つに連帯し、スポーツ人として恥ずかしくない労働組合として前に進んで行く」と述べた。

競輪選手労組は「業種を問わず、労働組合法上の賃金を目的とした勤労形態があれば労働三権を保障される権利があり、これに特殊労働者の労組設立の扉を拡大していかなければならない」と述べた。

出典：<https://www.vop.co.kr/A00001522808.html>

スポーツ暴力根絶キャンペーン

プロジェクト「動き」^{ウムジク} Project Umjik

故崔スクヒョン選手が私達の傍を去って数か月が過ぎました。全世界に伝わりましたが一体何が変わったのでしょうか？加害者は処罰を受け、文体部は特別調査結果を発表しました。しかし依然として責任を取るべき人は存在します。そのまま時間が流れれば多くの被害者が再び「やはり今回も変わりがないな」と教訓を得るのではと心配です。

ですから「動き」を始めました。私達が愛するスポーツから暴力の根を絶つために市民が声をあげなければなりません。プロジェクト「動き」に賛同していただくことを願います。

*参加方法

1. 自分がいつもする運動や表現したい動作を撮影します。写真または文字でも置き換え可能です。自分を写して送るのが難しければ数行の文を書くとか自由な方法、どんなことでも良いです。大韓民国スポーツ界から暴力を無くし、人権を保護しなければならないという意思を表現する、どんな事も良いです。
2. 上の意味と方法をコピーして自身の表現（動作、文字、絵など）を SNS にあげます。
3. 次の走者を3名、指名します。
4. 指名した方に連絡をとって趣旨を説明し賛同をお願いします。

暴力が無くなったスポーツ界を想像します。尊重と人権が河の流れのように流れるスポーツ界を想像します。今、一緒に動いて下さい。

#スポーツ人権キャンペーン

スポーツ界人権侵害情報提供および支援活動案内



体育市民連帯は

「トライアスロン選手死亡事件共対委」と

「民主社会のための弁護士会スポーツ人権チーム」所属

10数人の人権弁護士の方々と一緒に

被害者相談および法律支援活動を行います。

スポーツ界人権侵害情報提供がされたら

初期相談を通じて法律支援が必要な方々を支援します。



下のアドレスに情報提供して下さい。

共同対策委員会



forsportsreform@gmail.com

体育市民連帯



sports-cm@daum.net

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

http://www.sportscm.org/index.php?module=Inquiry&action=SiteInquiry&sMode=INSERT_FORM&inquiryNo=2

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com